

新聞のある町 地域ジャーナリズムの研究

四方洋 著

本体 1500 円 + 税 224 ページ
ISBN978-4-87950-618-4 C0000

ローカル新聞 26 紙の現場に話を聞いた
**全国紙もバフェットも
ほしがる 地域紙は
今どうなっているのか？**

「ブロック紙」「県紙」よりも狭いエリアに密着する「地域紙」は新聞退潮の時代でも堅実な需要をつかんでいる。

ローカルメディアがこれから果たす役割をジャーナリスト・四方洋が 26 の現場で聞いた。

巻頭インタビュー 地域紙は生き残れるか
東海新報社長 鈴木英彦さん

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 1 三陸新報 | 8 盛岡タイムス | 15 東都よみうり | 22 東愛知新聞 |
| 2 八重山毎日新聞 | 9 富士ニュース | 16 京都北部グループ | 23 デーリー東北 |
| 3 市民タイムス | 10 島原新聞 | 17 宇部日報 | 24 神静民報 |
| 4 桐生タイムス | 11 北鹿新聞 | 18 常陽新聞 | 25 人吉新聞 |
| 5 八幡浜新聞 | 12 紀伊民報 | 19 三條新聞 | 地域紙よ、おこれ |
| 6 房州日日新聞 | 13 十勝毎日新聞 | 20 いわき民報 | |
| 7 津山朝日新聞 | 14 軽井沢新聞 | 21 夕刊デイリー | |



2015年7月発行

貴店（帖合）印

ご担当

1500

ISBN978-4-87950-618-4 C0000 ¥1500E

注文数	書名	発行所
	新聞のある町 地域ジャーナリズムの研究	清水弘文堂書房
		著者
		四方洋

定価：本体 1500 円 + 税